

お知らせ 久喜市はゼロカーボンシティを宣言しました

問 環境課環境企画係 (☎ 内線362)

久喜市は、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す、久喜市「ゼロカーボンシティ」宣言を4月22日に行いました。

久喜市ゼロカーボンシティ宣言 (全文)

地球温暖化が原因とみられる大型台風の発生など、多くの命が失われる自然災害が世界規模で発生しており、日本各地においても数十年に一度と言われるほどの災害が毎年のように発生しています。

わが国においても「令和元年東日本台風」の脅威は、いまだ記憶に新しいところです。

このまま温暖化が進んだ場合には、気象災害の激化、さらには、干ばつや食糧難などの深刻な危機が予測されています。

私は、温暖化に歯止めをかけ、環境・社会・経済の持続的な発展を図るため、温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出をこれまで以上に抑制し、脱炭素社会の実現に向け、全力で取り組む決意をいたしました。

久喜市は市民・事業者・行政が一体となった「オール久喜」で、持続可能で活力あるまちづくりを進めるため、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことを宣言します。

令和3年4月22日 久喜市長 梅田 修一



連載 新たなごみ処理施設はこうなります

問 資源循環推進課施設整備係 (☎ 内線353)

市では、令和9年度(2027年度)の稼働に向けて、「新たなごみ処理施設」の建設を進めています。「新たなごみ処理施設」の特徴をご紹介します。

第2回 捨てるごみを地域の資源に!

新たなごみ処理施設では、ごみを燃やして発生した熱や、その熱から発電した電気を、エネルギーとして利用することができます。役目を終えて捨てられるごみが、燃やされることで資源となり、皆さんが利用する施設で有効活用されます。

どれくらい発電できる?

年間で8,500MWhの発電ができます。

8,500MWhとは

家庭の年間電気使用量
約 2,000 世帯分



熱や電気は何に使う?

市内の公共施設や、新たなごみ処理施設の隣接地に建設する余熱利用施設や公園で利用します。
※余熱利用施設…ごみ焼却熱を利用した温水プールや温浴施設

